

保育計画成果報告書

法人名	生活クラブ生活協同組合
施設名	生活クラブ保育園ぽむ・砧
報告者（役職）	谷 嘉子（施設長）
住所・連絡先	東京都世田谷区砧 4-38-4 グランドテラス 1F
	☎ 03-57270637
	E-mail pomu-kinuta@mx1.alpha-web.ne.jp

○タイトル（保育計画）

心の育ちを促す音遊び

○主な助成備品

ブンネ楽器（ブンネギター、チャイムバー、フルート、ベースギター、アンプ）

1. 保育計画策定の目的

本園は2013年4月に認証保育所として開園しました。2015年4月には認可保育園に移行し保育運営を行っています。保育目標として「たくさん遊び、よく食べ、たくましい子ども」、「自分の感情を表現出来る子ども」、「食を大切に思う子ども」、「感じるころや思いやりの深い子ども」を掲げて保育をしています。子どもたちは、長い時間を保育園で過ごすことが多いので、生活・遊びの中で一人ひとりを尊重した保育、豊かな感性や探究心を育てる保育にあたってきました。

そんな中で、ブンネメソッドとの出会いがありました。子どもたちは音が鳴るものが大好きです。でも楽器となると2歳児までの子どもたちに果たしてどれだけ取り組めるのだろうかという不安がありました。それから、職員がブンネの研修に参加したり、子どもたちにデモンストレーションをしてもらうなどして準備に時間をかけ、検討してきました。ブンネ楽器は、



音を出すだけで、色々な歌に合わせられる仕組みになっていて、歌と合わせやすい楽器です。実際に子ども達の様子を見ると、ギターやチャイムバー、フルートなどに触れ、色々な音色を体験したり、音が出ることに驚き、喜ぶ表情が見られ、その姿を保育者たちが目の当たりにし、取り入れることを決心しました。絵本の話に合わせた音遊びで、想像力を豊かにしたり、高齢者のデイサービス施設に出向いたり、小規模多機能施設の方に来ていただいている音楽による交流や、親子で楽しむ機会として、ブンネ楽器を交流のツールとして活用していきたいと考え計画しました。

2. 具体的な実施内容

通年を通して、2名の職員がブンネメソッドを習得し、1、2歳児を中心に遊びの中でブンネあそびを楽しみました。大人の楽器と同様の仕組みで触ってはいけない部分があったり、常に音合わせをしておかないときれいな音が出ないなど、気をつけないといけない点があります。しかし、「楽器は高価で気を遣うから」としまい込むのではなく、むしろ普段の遊びに自由に使えるこそ身近で親しめるものになると考えました。工具店に頼み込んで、各クラスの壁に飾り、子どもが気の向いた時におろして、大人と一緒に演奏できるようにしました。

普段から楽しむ延長線として、8/24には、「ブンネ楽器で高齢者と交流を深めよう」のテーマで、高齢者とこどもで演奏をしたり、9/10には、2歳児クラスで、絵本「ぶたやまさんたらぶたやまさん」に合わせてサウンドストーリーを作って楽しんだりしました。交流では、楽器を仲介することでお互いにリラックスして、高齢者や子どもたちの動きが活発になるように配慮しました。また、サウンドストーリーは、自分たちで物語に合わせて音を選んだり、「手を叩きましょう、カエルの歌」に合わせて落ちついて自ら演奏ができる様に時間をかけて準備をし楽しむことが出来たと思います。



11/4の親子ひろばでのブンネ楽器演奏は、地域の方や、卒園・転園児、在園児に呼びかけて企画しました。多くの方の参加が予想されるので、無理なく楽しめる様に保育者が演奏してみんなで歌う時間や、音の出るものをそれぞれが持って音楽に合わせて鳴らしてみる時間と、メリハリをつけて分かり易い構成を心がけました。3/25には、近隣のデイサービスの高齢者とブンネ楽器で交流する予定で打合せ中です。1月から2歳児が交流をしているデイサービス施設で、お互いのブンネ楽器を使って交流を行う予定で企画が進んでいます。

3. その成果と評価

ブンネ楽器のあそびは、簡単な操作で、本物の音色を小さなこどもでも楽しめます。自分で演奏できることで、子どもたちは、自分に対しての自信を持ち、少し難しいことへもチャレンジしたり、仲間と一緒に演奏することを楽しんだりできる様になりました。また、絵本に合わせた音を見つけていく遊びは子どもたちの創造力をかきたてて、音への関心を深めることが出来ました。演奏したり楽器を選んだり、一緒に演奏するなど、本園の保育目標である「自分の感情を表現出来る」「感じるこころや思いやりの深い子ども」を



たくさん目にする場面があったと実感しています。単に音楽を楽しむだけでなく、「はじまり」、「おしまい」の歌ではじめをつけて、子どもたちの心や態度を育てることもつながりました。

保育室に楽器を置くことで、楽器を演奏することが身近に感じられるようになってきました。楽器を介することで、高齢者や親子など人の絆を結びやすいことが分かり、音楽があるほうが動きも活発になったと感じます。ブンネ楽器自体が、初めてでもすぐに演奏できる特徴があるので、色々な年代の方との交流が出来ました。11月の親子ひろばのブンネ企画には、在園児、卒園児、地域の方含め61名の参加がありました。親子で同じ楽器を演奏することで、小さな子どもも楽しめて楽しい時間を過ごせました。参加者からもまた企画してほしいとの意見もあり好評でした。25日には、近隣のデイホームとのブンネ楽器での交流に向けて、保育の合間に演目の練習をして、当日を楽しみに待っている状況です。



4. 今後の課題と展望

普段の遊びで楽器に触れる事で、音色を楽しみ楽器が身近に感じられるようになったと思います。新年度を迎え、新しい子どもたちにも感じる心や想像力をのばしていけるよう、伝えていきたいと思います。また、ブンネ楽器を習得するメンバーを増やし、さらに高齢者との交流を進めていきたいと思います。また、地域での小学校、高校、大学、児童館など他団体との集まりも始まり、どのように交流できるか話し合いを始めたところなので、ブンネ楽器の活動を紹介し、つながりが持てるようにしていきたいと思います。

以上